

■豊竹越前少掾(初代若太夫) 義太夫節太夫。{豊竹座}創設し座本、紀海音と組んで、西の竹本・近松と競いあい、黄金時代に。
とよたけえちぜんのしょうじょう
天下一禁止・1681＝ 大坂・南船場の生まれ。

堀田正俊暗殺1684＝ 3歳：

湯島聖堂・・・1690＝ 9歳：

生類憐令頂点1695＝14歳：

__幼少のころから浄瑠璃を好んで、初代竹本義太夫(筑後掾)に入門、

・・・・・・1699＝18歳：この頃、__竹本采女を名のって竹本座の舞台に出演。

__独立して芝居を興行したがはかばかしくなく、諸国をめぐる研鑽し、

赤徳浪士切腹1703＝22歳：__大坂へ帰り、豊竹若太夫と改名、道頓堀に「心中涙の玉井」で豊竹座を旗揚げするが、

御蔭参流行・1705＝24歳：__挫折し、備中などの地方まわりをした後、ふたたび竹本座に出演。

富士宝永噴火1707＝26歳：*人形遣いの辰松八郎兵衛と相座本で、豊竹座を再興すると、作者に紀海音をむかえ、

シヅメ拘束・1708＝27歳：

徳川綱吉没・1709＝28歳：

__近松門左衛門を擁する竹本座に対抗して次々と新作を上場し、競演によって浄瑠璃が飛躍的に発展。

徳川吉宗將軍1716＝35歳：

隅田川の桜・1717＝36歳：

御蔭参流行・1718＝37歳：__受領して上野少掾藤原重勝と号する。

火の見櫓制・1723＝42歳：__紀海音が引退。

近松没・・・1724＝43歳：*近松も死去。市中の火災で類焼した折、道頓堀に新豊竹座をおこし、劇場主・興行主・太夫をかねた。三者をかねたのは他に京の宇治加賀掾と江戸の豊竹肥前掾だけである。しばらく低迷を続けていたが、

懷徳堂公認・1726＝45歳：__「北條時頼記」が2年越しの大当たりをとり、座の基盤も安定した。

・・・・・・1731＝50歳：__再受領して越前少掾藤原重泰とあらためた。竹本・豊竹の2派に分れ、竹本を西・豊竹を東と称す。

享保大飢饉・1732＝51歳：

昆陽蕃蕃考・1735＝54歳：

・・・・・・1741＝60歳：江戸へ下り高評を得た。

梅岩没・・・1744＝63歳：

徳川吉宗隠居1745＝64歳：*一世一代と称して「北條時頼記」五段目(女鉢の木)で出語りをして引退、

__その後は、浄瑠璃執筆、座本として経営にあたり、

徳川吉宗没・1751＝70歳：

薩摩藩工事・1753＝72歳：

大岡忠光没・1760＝79歳：

・・・・・・1762＝81歳：

・・・・・・1763＝82歳：*豊竹座新装開場と竹本義太夫50回忌で出語りつとめ、

加賀千代句集1764＝83歳：__没した。

「没年日本史人物事典」、